

●地域通貨について

私たちは先ほどのアンケート結果から高知を元気にするためのきっかけを探しました。するとこのようになりました。

- 1、高知県の魅力について。高知県に足りないものは何だと思えますかという問いに、
321人中142人が「活気」と答えました。
- 2、中心街について。あなたが行きたくなる商店街はどのようなものですかという問いに、
321人中58人が「活気のある商店街」と答え、一番多い結果となりました。

これらのことより、高知県を元気にするためには、活気を取り戻すことが必要であると感じました。

では、活気を取り戻すためにはどうすれば良いのか。私たちは、「地域通貨」の導入を提案します。まず、なぜ地域通貨の導入を提案したのか。それはアンケートに、高知の風土、人とのつながりが好きであるという意見が多数書かれており、高知の特色を生かすには最適な方法だと思ったからです。

地域通貨とは、その地域それぞれの特色を生かして作られた、地域で使える貨幣のことです。普通の貨幣とは違い、共同体の温かみが出る、お金の役割は持っているがお金でできないことをすることができる点で、今注目されています。私たちの地域通貨のキャッチコピーは、「ここでも、どこでも、高知なら」。人とのつながりと高知県ならどこでも使えることを強調しています。

システムについては3つあり、まず方法1は、中心街を主とした様々な場所で、例えば放置自転車の整備、プルタブ集め、イベント手伝い、河川清掃などのボランティアやマイバッグ使用などエコ活動をするとポイントがもらえ、たまったポイントにより店舗やサービスの利用に使えるという仕組みで、目的は、人と人とのつながりを作り、コミュニティの活性化を図ることで町に活力を取り戻すことです。

次に方法2です。ICカード「ですか」の進化系のようなカードを作り、それを一つ持っているだけでどこでも買い物ができ、乗り物にも乗ることができ、さらにポイントもたまり、それを加盟店舗での商品の割引、中心街でのイベントの参加費やオリジナルグッズに交換することができるのが方法2です。そのカードの情報は、携帯やパソコンのサイトで見ることができるようにし、またそのサイトからメールマガジンなどで情報を発信するという仕組みにします。目的は、高知市中心街に人を集め買い物をしてもらい、公共交通機関の乗車率を上げることです。

方法3の目的は、カードが他の市町村でも使えるようにすることです。各市町村に呼びかけ、観光地の入場料や土産物購入、特産物購入等にポイントを使えるように協力してもらいます。最初は方法1で始めて、さらに発展して方法2や3のシステムと統合し、地域通貨としてのカードを作る予定です。

地域通貨のメリットとしては、お金と同じように使える利便性、カード一つあれば高知

県内どこでも使えること。ポイントがたまるので得であること。流通が良くなること。企業としては地域の活動参加によるイメージアップやPRにつながるということが挙げられます。

デメリットは、1つ目は、カード作成の初期費用がかかることです。しかし、将来の利益を考えると、やむを得ないのではないのでしょうか。2つ目は、提携企業を探す必要があることです。これは、カードのサイトに無料で広告を出すという条件を付け、双方に利益が出るようにすれば提携してくれる企業は見つかると思います。3つ目は、店舗独自のポイント制度との重複です。これは難しい問題ですが、カードのポイント制度に移行すると、カードのサイトと連動したイベントに参加でき、店のPRもできるという条件を付け、店舗側に利益が出るようにすれば解決すると思います。

やはり特典がないとカードをほしいと思わないので、高知の特産品、地産地消を推進している商品を購入したり、よさこい等のお祭りの時期はポイントアップすることを特典とします。また、高知らしさを出すために、各市町村で違うポイント交換サービスを作りたいと思います。例えば、窪川は15ポイントで窪川ポークを使った肉まん1つ、四万十市は25ポイントで名産の青のり1瓶、室戸市は50ポイントでホエールウォッチング参加料半額と交換というように、高知県の魅力を存分に生かしたいと思います。

そして、このカードに親しみを持ってもらうためにイメージキャラクターを作りました。特産物戦隊土佐レンジャーです。カードの単位は「トサ」にしました。100円で1トサたまり、1トサは1円として使えます。左から「トサグリーン」、ピーマンをイメージしており、レンジャー界のアイドルです。「トサブルー・鯉マン」は、鯉をイメージしており、鯉の弓とにんにくの矢が武器です。真ん中「トサレッド・ハリマヤン」は、はりまや橋、鳴子、帽子パンをイメージしており、原動力ははりまや橋を愛する心です。「トサイエロー・ゆう君」は、ゆずをイメージしており、いい匂いでみんなを幸せにします。「トサピンクのス・マキ」は、すまきをイメージしており、お腹がすいている子にすまきを渡します。このような感じで親しみを持ってもらい、かつ、有効利用してもらいたいと思っています。

最後に、私たちは地域通貨を導入すると、新たな人と人とのつながりができ、高知県内から活気を取り戻すことができると考えています。また、通貨を発行することにより経済が活発になり、他の県内の事業も盛んになることも期待しています。「ここでも、どこでも、高知なら」。私たちは高知県に地域通貨を導入することを提案します。

